



大阪府立長野北高等学校 11月

11月号

「LGBT」という言葉を聞いたことがありますか？
「性」にはさまざまなあり方がありますが、まだまだ理解されていません。
「LGBT」について知り、誰もが「ありのままの自分」で生活できる社会を実現したいですね。

LGBTについて正しく理解しよう！



20人に1人は「LGBT」だという現実

2012年に電通総研が約7万人を対象に実施した調査によると、5.2%の人がLGBTであると回答しました。つまり**20人に1人の割合**です。
インターセックスやアセクシャルの人は含まれないので、実際にはもっと多い割合で自分の性に悩んでいる人が多いと思われます。



同性愛者になるかどうかは自分で決めるものでしょ？

同性愛か異性愛かは、**本人の意思で選択できるものではありません。**
多くの人が同性愛者になるかどうかを拒否することができる、と誤った理解をしています。性的指向は「生まれ持ったもの」と理解しましょう。



同性愛者と性同一性障害は異なります

ゲイのカップルに「どっちが女役？男役？」、「女装しないの？」などと質問する人がいます。彼らは性的指向が「男性」なだけであり、自分の性については違和感を感じていません。同性愛は「性的指向」が「同性」であり、性同一性障害は「性自認」に違和感を持っている人のことで、全く違います。



病院に行けば治るの？大人になれば治るの？

LGBTは病気ではありません。WHO（世界保健機構）は同性愛を国際疾病分類から外しています。国際的に病気ではないので、治療の対象ではありません。
異性愛も同性愛も対等に**自然な性のあり方**です。

LGBTって知っていますか？

生まれた時の法的・社会的性別とは違う性別で生きる人、
生きたいと望む人たちのことです。間違った認識をしている人が多いのが現状です。

LGBTとは…

- L (レズビアン) : 女性の同性愛者
- G (ゲイ) : 男性の同性愛者
- B (バイセクシャル) : 両性愛者
- T (トランスジェンダー) : 自分に割り当てられた性別に違和感がある

この他にも、特別に性的な感情を抱かない「アセクシュアル」や
生まれたときに男女に二分化することが困難な状態である「インターセックス」、
自分自身の性について定義づけできない「クエスチョニング」など
さまざまな性のあり方があります。性は人の数だけ多様なのかもしれません。

LGBTについて
「どうしても理解できない」「受け入れられない」
と思う人がいるかもしれません。

だからといって

あなたにLGBTの人たちを 傷つける権利はありません！！！！

「ホモ」「おねえ」「気持ち悪い」など…
心ない言葉に傷ついている人がいます。

レインボーマーク



LGBTのシンボルとして
「虹・レインボー」が使用されることがあります。
虹は「性の多様性」を表現しています。虹色の旗を掲げている市役所や施設もあり、
LGBTの人を理解している、研修を受けているというサインになっています。

★ 相談窓口はこちら…

- ・にじいろホットライン（富田林市人権教育推進協議会） 0721-20-0285
- ・キッズライン（子ども専用電話相談） 0120-786-810

保健室でも話を聴くことができます。一人で悩まず、話してみませんか？